

# 2018 年度「カープピンクリボンバッジプロジェクト助成事業」報告書

ヒロシマダイガクビョウインビョウリシンダンカ

広島大学病院病理診断科

## 広島乳腺診断プラザ

開催日時：平成 31 年 3 月 9 日(土)12:00～18:00

開催場所：広島大学医学部広仁会館 大会議室（広島市南区霞 1-2-3）

### プログラム

#### 1. 基調講演と話題提供

『がんゲノム医療への準備と HER2 検査精度管理』  
広島大学病院病理診断科  
有廣光司

#### 2. 症例検討

呈示

症例 1 県立広島病院	野間 翠 先生
症例 2 広島大学病院乳腺外科	末岡智志 先生
症例 3 広島大学病院乳腺外科	末岡智志 先生
症例 4 JA 広島総合病院乳腺外科	板垣友子 先生

#### 3. 特別講演

『乳癌取扱い規約の大幅改定の要点』  
日本大学医学部病態病理学系腫瘍病理学分野  
主任教授 増田 しのぶ 先生

今回の広島乳腺診断プラザでは、広島県内で乳腺診療に携わる外科医、放射線診断及び治療医、病理医、診療放射線技師、超音波検査士、細胞検査士が全体で約 70 名参加し、4 例の様々な乳腺画像検査像と病理像の対比と議論を行うことで互いに理解を深め、より精度の高い乳腺診断のための研鑽が出来ました。症例検討の前に予め各症例の高精細な検査画像を参加者に供覧するために、大阪市の株式会社ネットカムシステムズが無償でビューワー機器を搬入、設置して参加者のための便宜を計ってくれました。

症例検討の後、特別講演を開催しました。今回は乳癌取扱規約第 17 版が大幅に改定された際に、病理分野の取り纏めを指導された増田 しのぶ先生に改定された項目の整理と改定の意図を分かりやすくご説明いただきました。表面的な解説だけではなく、議論の過程や旧規約及び WHO 分類との整合性をいかに図ったなど、改定作業の舞台裏についても明かしていただき、会員のより深い理解の一助となりました。

助成金はコーヒーブレークや資料作成などの実費として有効に使用致しました。

誠にありがとうございました。